

唐津市 ★★★★★★

議会だより

第47号 (平成27年8月1日)



目次

- ・平成27年度6月補正予算 P 2
- ・合併特例債の概要ほか P 3
- ・議案質疑 P 4・P 5
- ・常任委員会審査報告 P 6・P 7
- ・一般質問 P 8~P12
- ・一般質問・特別委員会報告 P13
- ・特別委員会報告ほか P14
- ・意見書(要旨)ほか P15
- ・現地調査・議会交際費・編集後記 P16

唐津の海の安全を守る青バイ隊

- ◎ 発行：唐津市議会
- ◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会
唐津市議会事務局内
☎ 72-9162 FAX 75-1515
(☎847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)

平成27年度 6月一般会計補正予算

9億2,760万8千円を可決しました!

《予算総額 676億2,199万6千円》

その補正の主な内容は次のとおりです。

【総務費】

- ・コミュニティ事業助成金 530万円
- ・佐賀段階チャレンジ交付金事業補助金 3,945万7千円

【民生費】

- ・福祉・就労支援事業費 137万6千円
- ・軽度・中度難聴児補聴器購入費助成事業費 50万9千円
- ・保育所等整備事業補助金 8,903万円

【農林水産業費】

- ・農業総務事務費 60万円
- ・さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業補助金 567万9千円
- ・さが園芸農業者育成対策事業補助金 3,581万8千円
- ・さが肥育素牛生産拡大施設等整備補助金 606万5千円
- ・農業基盤整備促進事業費 3億1,459万円
- ・小水力発電施設導入事業費 9,900万円
- ・相知黒岩地区ほ場整備事業費 1,010万円
- ・林道改良舗装事業費 1,350万円

- ・複合経営等漁家経営改善支援事業補助金 916万4千円

【商工費】

- ・巖木工業団地管理費 9,100万円
- ・海外コスメ企業投資促進事業費 4,818万8千円

【土木費】

- ・橋りょう長寿命化事業費 5,600万円
- ・道路新設改良費 6,926万5千円
- ・道路舗装改良費 3,070万円

【消防費】

- ・地域防災組織育成助成事業費 40万円

【災害復旧費】

- ・特定公害復旧事業費 36万3千円

【介護保険特別会計】

- ・介護施設等整備事業補助金 1億5,035万6千円

これは県の補助金で、地域密着型のサービス提供をする事業者が行う施設整備に対し補助金を交付するものです。認知症対応型共同生活介護施設3施設、看護小規模多機能型居宅介護施設1施設を対象とするものです。

■ 合併特例債の活用について

歳入の市債（借入金）のうち、市民の皆様の関心の高い「合併特例債」の概要をお知らせいたします。

● 合併特例債とは

合併後の市町村の均衡ある発展のために、公的施設整備事業または基金の積み立てに要する経費に活用できる地方債（借入金）の一つです。



● 国からの財政支援

充当率（借入事業に対する借入可能割合）は、対象事業費の95%であり、返済額（元金と利子）の70%相当が、普通交付税として国から交付されます。

その結果、国から2/3の補助を受けて事業を実施すると、同様な財源となり、大変有利な地方債であります。



● 借入可能期間及び借入限度額

（平成26年3月の新市建設計画の変更に伴い、活用期間、借入限度額の変更を行い、100%借入可能となっている）

平成17年度から平成32年度 総額 578億6,990万円

内訳 公的施設整備事業 540億6,990万円 基金造成事業 38億円

● 借入済額及び借入可能額

平成26年度までの借入済額 334億7,010万円

平成27年度から平成32年度までの借入可能額 243億9,980万円



● 平成27年度以降の主な活用事業

小中学校施設整備、地域医療センターエリア用地取得、道路、街路整備、給食センター整備などに活用されます。

■ 議員提出議案第2号 唐津市議会会議規則の一部を改正する規則制定について

「議員（委員）は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。」

上記項目を、唐津市議会会議規則に追加する議案を、可決しました。

この事により、出産による欠席届を明確にでき、男女共同参画に配慮した議会活動を促進出来るようになりました。

■ 議案第89号 唐津市副市長の選任につき市議会の同意を求めることについて

任期満了で6月末に退任する世戸政明副市長（65）の後任として、国土交通省職員の岡本雅夫氏（54）を充てる副市長選任案に同意しました。港湾政策を専門とされ、前任地の四国地方整備局で総括調整官を務めておられました。

市長は人選理由として、「市政の立て直しには外部の協力を得る方がいい。地方創生という観点からも即戦力の国交省の方が適任と思った。」と議会で説明がありました。任期は、平成27年7月1日から4年間。



議案質疑

提出された21件の議案に対して各会派から13名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

議案第70号 平成27年度唐津市一般会計補正予算

1. 総務費「佐賀段階チャレンジ交付金事業補助金」…… 3,945万7千円

質疑 事業の目的と採択基準は。

答弁 県内各地域の自主的、総合的な取組を支援し、各地域や集落等の維持及び活性化につながる事を目的に、県が国の地方創生交付金を原資として実施するもの。採択基準は、①自立性（継続性）②将来性（自主性）③地域性 ④直接性 ⑤結果重視 ⑥その他（新規性、ソフト重視）となっている。

質疑 がんばる地域応援事業補助金との違いは。

答弁 補助金の上限がなく、ソフト事業に付随する整備事業が1/2まで認められていて、大規模な事業への活用が可能な単年度事業である。対象団体は地域住民の団体の他、社協、森林組合、農協、漁協、商工会、観光協会、NPO等。一方、がんばる地域応援事業補助金は、小規模事業が補助率10分の9、上限が20万円。大規模事業は補助率10分の8、上限が50万円です。自治会や区単位の小さな地域の5人以上を含む任意団体で5年間交付を受けることが可能。

2. 民生費「福祉・就労支援事業費」…… 137万6千円

質疑 設置場所を唐津市民交流プラザ3階事務室に決定した理由とその経緯は。

答弁 事業内容は、国と地方の連携事業として、「福祉・就労支援コーナー」を設置し、唐津市とハローワーク唐津が連携して就労支援を行うもの。場所の選定については、相談窓口と福祉・就労支援コーナーが近接する方が望ましいということ、また市の方でスペースを確保する必要があった。その理由から本庁舎を管理する総務部とも協議した結果、市民交流プラザ内に決定した。

質疑 設置場所について公共施設再編推進室を通して全体的な検討をしたのか。

答弁 比較的小規模であり、事業実施に見合うスペースが確保できるという判断から、公共施設再編推進検討委員会の開催検討はしていない。

質疑 就労支援（労働行政）の所管は商工ブランド課ではないのか。

答弁 保健福祉部の複数の課が行う就労支援が、より効率的・効果的に行い、就労に結び付けるまでをハローワークとともに取組む。福祉・就労支援コーナーの立ち上げ及び運営事務に関しては、福祉総務課の事業とする。商工ブランド課については、労働行政の所管課として「福祉・就労支援運営協議会」を運営してもらう。

3. 民生費「軽度・中度難聴児補聴器購入費助成事業費」…… 50万9千円

質疑 事業の概要について。

答弁 身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中度難聴児の補聴器の早期装用を促し、言語の習得、教育等における健全な発達を支援するため、購入費の一部を助成するもの。

質 疑 身体障害者手帳の交付対象外の軽度・中度難聴児の状態（症状）は。

答 弁 軽度難聴状態とは「ささやき声や小声は耳元でなければ聞こえない」また中等度難聴状態とは「ささやき声や小声は耳元でも聞こえない」・「普通の声の大きさに聞き返しがある」また「音は聞こえるが、何を言っているのか聞き取れない」状態のこと。

質 疑 事業の補助率と個人負担金は。

答 弁 県が1/3・市が1/3補助、個人負担が1/3となる。なお、同一世帯で市民税所得割額が46万円未満の世帯が対象となる。

4. 商工費「海外コスメ企業投資促進事業費」…… 4,818万8千円

質 疑 事業の目的と内容は。

答 弁 化粧品関連産業の集積を進めるべく市・県の企業誘致課と連携し、国内企業はもちろん国際取引の促進に取り組んでいる。欧州企業の誘致や、合併会社の設立、事業提携の実現を目指している。その内容として、1. プロモーションツールの作成（8月～10月上旬）2. 海外企業の投資意向調査（9月～10月中旬）3. 現地プロモーション（10月中旬～12月上旬）4. 海外企業の来唐招へい（来年1月～2月）を予定している。EU各国に支社やネットワークを持つ、シンクタンク等の専門機関に委託し実施する。

5. 土木費「橋りょう長寿命化事業費」…… 5,600万円

質 疑 この事業の目的と実績

答 弁 市が管理する道路橋が急速に老朽化する中で、予防的な修繕及び計画的な架け替えへと政策転換を行い、地域の安全安心な交通ネットワークの確保、維持管理費の縮減、予算の平準化を図るもの。点検調査で補修を要する橋りょう数は683橋のうち69橋で、平成25年度から10年間で補修・架け替えを実施する計画で、これまで83橋の橋りょう点検、20橋の調査設計、補修・架け替え工事6橋を実施している。

質 疑 補正予算での事業内容と工事予定件数は。

答 弁 法改正に伴う施設の点検計画策定により、全ての橋りょうを近接目視で5年サイクルで行うもので、仮設足場や橋りょう点検車を必要とする橋りょうもあるため、委託点検費を増額する。事業内容は、点検74橋と設計4橋で、次年度以降の工事を計画的に進めるため、調査設計費を計上するもの。

議案第74～76号 浜玉中学校校舎・屋内運動場改築建築工事請負契約締結について

質 疑 工事を3つに分けてある理由と各工事の最低制限価格の決定方法は。

答 弁 施工管理の適正化及び、受注機会の確保等の点から分割発注としている。最低制限価格の算定方法は、市が定める事務処理要綱の規定により、予定価格の90%を最低制限価格に設定した。

質 疑 総合評価落札方式の技術評価基準はどうなっているか。

答 弁 これまでの3つの評価項目に、今年度から手持ち工事量を加えて4つの評価項目としている。4項目の最高点は11.5点となる。

質 疑 取り分け方式を採用されているが、総合評価方式との併用の意味合いは。

答 弁 市が定める取り分け要領及び総合評価落札要領の規定する条件を満たすために併用することとなり、工事の品質確保、工期の確保、受注機会の拡大に寄与している。

質 疑 共同事業体の電子入札はできないのか。

答 弁 県では代表者の認証カードを使用して、電子入札を実施している。本市においても検討したい。

常任委員会審査報告

議長より付託された案件について常任委員会ごとに審査します。



6月 定例会



総務教育委員会

◎佐賀段階チャレンジ交付金事業補助金

【質問】33件の申請があり、採択は17件となっている。不採択の理由は。

【答弁】補助事業に適さない、地域性が確認できない、地域との連携がない、新規性、継続性がない等の要件があった。【質問】事業の検証はどのようなものか。

【答弁】補助金要綱等に沿った実績報告の提出義務がある。県としては、事業内容の検証は考えていない。

【質問】県へ提出した申請書は内容の確認をしたのか。

【答弁】書類の不備等のチェック程度で提出した。

【質問】市には類似した補助金としてがんばる地域応援事業補助金がある。2年目以降優先的に佐賀段階チャレンジ交付金に採択された事業が市の補助金として採択されるのか。

【答弁】がんばる地域応援事業補助金には独自の補助要件がある。公平に審査して採択したい。

◎海外コスメ企業投資促進事業費

【質問】佐賀大学のサテライトキャンパスの現状は。

【答弁】原材料の素材を1次加工する機器を14台購入している。現在佐賀大学、唐津市、JCC3者による共同研究契約に基づき運用しており、地産物から原料素材サンプル

をつくり、企業への営業活動をしている。

【質問】海外のみならず、国内企業誘致はどう考えているのか。

【答弁】今回の4800万円は全額国の交付金を充てることが出来たが、国内の企業誘致に配分をしない訳ではない。企業誘致課からいい提案があれば考える。

◎議案第74号 浜玉中学校校舎・屋内運動場改築建築工事請負契約締結について

【質問】今回入札制度が新しくなり簡易の総合評価を導入したからの執行部の感想と考える方は。

【答弁】今回最低制限価格を公表しての入札では、浜玉中学校改築建設工事3件の内第1工区、第2工区で最低制限価格同額が多く見られた。企業としては積算した中で工事金額や利益等を総合的に勘案して出されたものと理解している。

【付帯意見】佐賀段階チャレンジ交付金事業補助金については、全地域へのきめ細かな周知に努め、実施主体と共に事業計画の精査及び事業成果の検証を行い、この事業の趣旨に沿った対応をされるよう強く要望する。

《現地調査》

- ・ 浜玉中学校（浜玉町）
- ・ 鏡山再生緑化プロジェクト（浜玉町）
- ・ 村田英雄記念館（相知町）

産業経済委員会

◎農業総務事務費

【質問】「九州グリーン・ツーリズムシンポジウム佐賀大会実行委員会」に対する負担金だが、全体の予算規模と、唐津での経済波及効果は。

【答弁】全体予算額は、536万円。経済波及効果については、400万円程を見込んでいます。

【質問】観光課として、各地からの参加者に対しての対応は。

【答弁】観光PRを観光協会と共にやりたい。「おもてなしの心」を中心に、総力戦でお迎えしたい。具体的には未定。

◎さが園芸農業者育成対策事業補助金

【質問】県補助金の追加採択の内容及び、補助先の概要は。

【答弁】グリーンファームینگからつ（株）のトマト栽培用耐候性ハウスに対する補助。今回、県単独での追加採択となった。唐津では、従業員10名程で、相知町にてハウスを所有しサンチュを栽培。独自に、福岡、佐賀のスーパー、レストランへ販売されている。

【質問】施設整備後の対応は。

【答弁】県に対し、最低3年間は実施状況を報告。計画目標に達しない場合は、その後も報告。その中で、県と共に改善策を協議して行く。

◎さが肥育素牛生産拡大施設等整備補助金

【質問】県補助率が1.3から1.2へ拡充されているが、経緯は。

【答弁】大規模経営促進対策で、飼育頭数50頭以上を目指し、10頭以上拡充する場合1.2補助となる。子牛及び飼料の価格高により、大規模な畜産農家は、より大規模に

しないと採算が合わないため。小規模な畜産農家に対しては、経営指導を行う。

◎農業基盤整備促進事業費

【質問】同じ工種でも地元負担金の割合が違うが。

【答弁】河川法の適用を受ける河川工作物、公共性の高い水路・道路などは、地元負担金を徴収していない。

【質問】地元理解の為、地元負担金の考え方について整理する必要があるので。

【答弁】国の通達なども合わせ、改めて要綱なりを定め文章化し、整理して行く。

◎小水力発電施設導入事業費

【質問】メンテナンス体制は。

【答弁】上場土地改良区への管理委託と、専門業者へのメンテナンス委託で行う。

【質問】発電開始時期は。

【答弁】平成28年度に発電機本体を設置し、平成29年度からの発電、売電となる。

◎厳木工業団地管理費

【質問】企業誘致の考え方は。

【答弁】コスメ関連企業の場合は、国際局と連携し進める。ただし、コスメ関連に限らず多くの業種に押し進める。

【質問】分割分譲も可能なのか。

【答弁】基本的には、一括分譲を目指す。分割分譲の場合は、企業の雇用、投資効果、残地の活用を、県とも協議し決定する。

《現地調査》

- ・ 厳木工業団地（厳木町）
- ・ 横枕地区頭首工（相知町）
- ・ 黒岩地区圃場整備（相知町）

都市整備委員会

◎橋りよう長寿命化事業費
質問 事業の内容は。

答弁 橋りよりの点検調査については、平成26年に道路法の施行規則が改正された。ボックスカルバートを含め全体で854件の橋りようがあり、それを5年サイクルで点検していくようになり、今回の調査は74橋。工事設計は、4橋を予定している。

質問 4橋の工事設計箇所は。

答弁 橋りよりの名としては新双水橋、八谷橋、楠1号橋、楠2号橋の4橋。

質問 この事業の全体的な計画は。

答弁 橋りよりの長寿命化計画を平成24年度策定時に、補修の必要なものが69橋あり、それを平成25年度から10年間で修繕をしていくもの。

◎唐津駅旭が丘線道路改良費

質問 計画期間内に完成するののか。

答弁 西九州道の山田千々賀インターの竣工により、唐津市内への渋滞の可能性があることで、平成24年度から事業化に向け進めている。地権者の方には、ご迷惑をかけると思うが、早期

の完成に向け努力したい。

◎道路舗装改良費

質問 事業内容と事業費は。

答弁 6路線の舗装を計画しており、1路線当たり500万円程の事業費となる。平成27年度は、12路線の舗装計画となる。

◎財産の取得について

質問 取得費の内訳は。

答弁 約14,399㎡の取得費が6,479万円。

利息相当額で146万円。事務費が265万円の合計で6,891万円になる。

質問 取得後の事業計画は。

答弁 呼子地区市営住宅の建替え用地であり、平成28年度から3カ年計画で建替える。全体戸数で57戸の計画。

《現地調査》

・滝川桑原杉山線道路改良(七山)

・唐津駅旭が丘線道路改良(旭が丘)



市道 唐津駅旭が丘線(旭が丘)

市民厚生委員会

◎福祉・就労支援事業費

質問 ハローワークから何人入るののか。フロアの面積は。

答弁 福祉・就労支援コーナーにはハローワーク唐津から就職支援ナビゲーターが、2〜3名常駐する。面積は25.65㎡、縦9.5m、横2.7mとなっている。

質問 利用者の立場にたった検討はされたのか。また、支援対象数はどのくらいか。

答弁 場所については、市民交流プラザであれば気軽に立ち寄れる、市役所にも近いということで選定した。利用者のプライバシーに配慮し、相談の窓口ごとに仕切る。運営協議会で目標を設定するが、市の考え方としては、生活困窮者、母子家庭、父子家庭で、半年間で70から80名ぐらいの相談者と、そのうち半数程度を就労に結び付ける。

それ以外の一般の求職者は半年間で約100名の相談数を想定している。

◎軽度・中度難聴児補聴器購入費助成事業費

質問 30デシベルから70デシベルの難聴者の方への補助ということだが、正常な方はゼロから20デシベルということで、それでは、20から30の方はどうなるのか。市費でやるべきではないのか。

答弁 単純にデシベルだけで交付するものではない。常に医師の診断がついている。つけなければ日常生活ができないような状況であれば、その時点で検討する。

◎保育所等整備事業補助金

質問 19歳以上の大人でも軽度・中度の対象者がいるなら、市が補助すべきでは。

答弁 今回の制度は、あくまでも成長段階にある子供さんを、できるだけ早期に補聴器を装着することによって、発達を支援するという、教育的支援の一環という意味付けの補助金である。

◎保育所等整備事業補助金

質問 スケジュールは。

答弁 現在の山田分園の園庭に新園舎の建設を11月着工で年度末までを予定しており、完成次第、翌年度に旧園舎を解体する。

質問 園児数の見込みは。

答弁 過去3年間の平均は約28名。今後30名前後の園児数を見込んでいる。

《現地調査》

・町田保育園山田分園(山田)

・市民交流プラザ(大手口)



町田保育園山田分園(山田)

議会を傍聴してみませんか

6月定例会の傍聴者は、本会議 延べ10名でした。
 次回の市議会定例会は9月に開かれる予定です。
 車椅子専用の傍聴席(2席)も整備されています。

一

般

質

問

6月定例会の一般質問は、6月10日～16日の4日間で行われ、16名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。

質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。



平野 潤二
(清風会)

高齢者の公共交通政策について

質問 高齢者の公共交通の現状は。

部長 アンケートで「高齢者要望等実態調査」の中で研究したい。

質問 路線バス、循環バスの運行計画は。

部長 26年度が28路線で78万人が利用し約1億円の補助金を出している。今後の交通弱者に対しての路線確保を検討する。

質問 全国で規制緩和と赤字路線の廃止があいついでいるが唐津の現状は。

部長 バス路線業者から赤字路線廃止の申し入れがあった。交通弱者の足の確保は重要。継続してお願いしたい。

質問 唐津の交通活性化協議会の状況と方向性は。

部長 協議会は35名の委員で、年に2～3回開催し公共交通については「唐津地域公共交通形成計画」をもとに協議している。

質問 75歳以上の高齢者

の事故率と免許自主返納は。

部長 事故率は県平均7.8%であるが、唐津管内は13.1%と高い。自主返納は26人が109人である。

質問 デマンド交通は、予約型の乗り合いタクシーで高齢者には大変喜ばれている。唐津市における取り組みは。

部長 交通空白地帯における高齢者の足の確保としては重要なものであり、病院への通院、買い物など大変利用しやすい交通体系であり協議会の中で検討したい。

質問 唐津観光客、デマンド交通を導入すると利用しやすいと考えるが。

部長 入込客の16～17%が公共交通を利用してほしい。公共交通の2次交通の社会実験をしたい。

質問 更新の現状は、漏水事故が多く発生している管から随時更新している。本年度は、高島海底送水管、鏡、山本、神田地区の老朽管を更新予定。また更新とは別に漏水に伴う修繕に毎年8千万円程度を要している。

質問 更新事業の事業規模とその財源は。

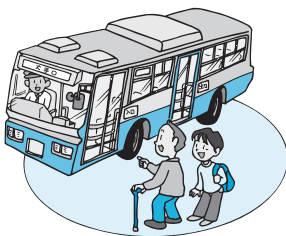
水道局長 現在の老朽管をすべて更新した場合120億円以上必要と見込んでいる。更に、現在の管も老朽化していくので事業費は膨大なものになる。財源は、水道事業債や水道料金。

質問 更新計画の策定は。

水道局長 現在、更新計画は策定していないが膨大な費用を要するので、継続可能な更新計画の策定が必要と考えている。

質問 水道事業の今後10年間の財政収支見直しは。

水道局長 収益面では、給水人口の減少に伴い給水収益が減少傾向になる見込み。費用面では、減価償却費、統合整備事業、老朽管の更新事業、これらに係る起債の利息償還などがあるので費用の削減は厳しく、平成31年度以降は欠損金を計上する見込みなので料金の値上げも検討していく。



馬場 幸年
(志政会)

上下水道の老朽管の更新について

質問 上下水道の老朽管の更新は、延長と総延長に占める割合及び老朽管の更新の現状は。

水道局長 耐用年数40年を経過したものが老朽管で、延長は約310km、総延長に占める割合は29%。

質問 更新の現状は、漏水事故が多く発生している管から随時更新している。本年度は、高島海底送水管、鏡、山本、神田地区の老朽管を更新予定。また更新とは別に漏水に伴う修繕に毎年8千万円程度を要している。

質問 更新事業の事業規模とその財源は。

水道局長 現在の老朽管をすべて更新した場合120億円以上必要と見込んでいる。更に、現在の管も老朽化していくので事業費は膨大なものになる。財源は、水道事業債や水道料金。

質問 更新計画の策定は。

水道局長 現在、更新計画は策定していないが膨大な費用を要するので、継続可能な更新計画の策定が必要と考えている。

質問 水道事業の今後10年間の財政収支見直しは。

水道局長 収益面では、給水人口の減少に伴い給水収益が減少傾向になる見込み。費用面では、減価償却費、統合整備事業、老朽管の更新事業、これらに係る起債の利息償還などがあるので費用の削減は厳しく、平成31年度以降は欠損金を計上する見込みなので料金の値上げも検討していく。

水道局長 現在、更新計画は策定していないが膨大な費用を要するので、継続可能な更新計画の策定が必要と考えている。



老朽管更新事業



青木 茂
(志政会)

行政改革と行政サービスの向上について

質問 公共施設の再編や、職員の適正化など行政改革は待ったなしである。同時に、行政サービスの維持向上は、しっかりと図らなければならない。第二次総合計画にて、どう位置付けているのか。
部長 多くの部署・分野に亘って体系つけている。とのことだが、電子自治体構築に向け、どの様な組織体制で取り組むのか。
部長 現在は、それぞれの部署で対応しているが、専門的知識も必要であり、取りまとめる組織が必要となってくる。
質問 テレビ会議などのシステム構築の可能性は。
部長 職員の移動時間の短縮や、市民サービス向上に向け検討したい。
質問 現在、一部の郵便局にて住民票や印鑑証明などの証明書発行が実施されているが、拡充できないのか。

部長 実施状況や、市民ニーズを見ながら対応したい。
質問 行政サービス向上の観点から、行政放送の内容の見直しが必要ではないか。
部長 使いやすさを含め、十分検討したい。

質問 データ放送番組の中に、地域単位の伝言板などのコーナーが構築できないか。
部長 掲載基準などの課題はあるが、十分な打ち合わせを行い努力したい。

質問 現在、新たに設置している行政防災無線を使った地域情報の放送も可能と伺っているが、その方向性は。
部長 地域コミュニティー活動に役立つ様、運用指針を整理したい。



データ放送のトップ画面



宮崎 千鶴
(公明党)

離島振興について

質問 唐津市にある離島の現状は少子高齢化が著しく、課題が多い。課題解決に向けての対応は。
部長 離島振興法に基づき、対応していく。高齢者の介護施設については市の計画の中で、本年複合型サービス施設、グループホームを整備するため公募中。島民の皆様の要望をまず聞きながら、検討していきたい。
質問 観光と虹の松原について
質問 今後、虹の松原再生を、継続的に進めるためには市民のモチベーションを上げる何かが必要となる。ポランティアは無償という考えでなく、有償にすべき。そのためには拠点を作り、土産物を販売すれば収益が見込める。道具を置くのが目的でなく、休憩したり、観光客が立ち寄って話ができるビジターセンターが必要。これまでの経過について聞きたい。
部長 多くの市民の皆様

により再生活動がすすめられてきた。拠点については現在協議中。今年度市が借用している場所に試験的に設置したい。
特別支援教育について
質問 特別支援教育を受ける子供の現状をどのように認識されているか。
教育長 就学相談の人数件数とも増加している。支援員の要望も多い。

質問 特別支援学級に入れない子供(発達障害児)の対応について、学習面、配布物や社会学習の対応が十分にされなかった事実がある。報告があったと思うがそのような現状について理解されているか。子供、保護者にもっと寄り添う対応をお願いしたい。
教育長 認識している。インクルーシブ教育を今後も推し進めていく。



Takashimaスペシャルマップ



富田 幸樹
(志政会)

子育て支援について

質問 出生率を増やす事を簡単に考えれば、夫婦から生まれる子供が2人以下では人口は増えない。3人以上生まれてこそ人口が増えると考え。そこで、市の保育料の負担軽減支援策は、子供の年齢差によって支援を受けられる家庭への支援額に違いがあり不平等感がある。他市の状況と比較し改善の考えは。
部長 多子家庭軽減策として、保育所等に入所している児童が2人以上の場合、2人目を半額、3人目以降は無料とした支援で、これは国の基準に準じたもの。年齢差による支援金額の差が出るなど不十分のことだが、全国的にみると第1子を中学3年生や18歳までと、年齢対象を拡大した自治体もある。市としては、財政的にも長中期的な制度設計が必要で議論を深めたい。
質問 文部科学省の学習

費調査では、公立小学校家庭の出費は年間約30万5千円で、決して義務教育になっても、家庭の負担が少ないとは言えない。保育料軽減支援策の不公平感を解消し、子供を産み育てやすいまちづくりの観点から手厚い政策とする考えは。
部長 第3子の保育料無料化などの子育て支援策の必要性は十分感じているが、国レベルの課題でもあるので、今後は国の動向をみながら慎重に検討したい。

＜その他の質問＞
◎第2次唐津市総合計画について





浦田 関夫
(日本共産党 唐津市議団)

新教育長の教育方針について

質問 少人数級の教育効果の認識について。

教育長 個々に目配りをするためには少人数がい。国がすすめている35人学級は妥当と考える。

質問 教職員の多忙化の原因について。

教育長 ITC化、小学校からの外国語、生徒指導、保護者対応にある。

質問 県教委は、「多忙化対策検討委員会」を設置するように求めている。

教育長 校長会でメンバーも含めて検討する。

市長の政治姿勢について

質問 市長の政治倫理条例の制定について。

市長 特別職を含めた条例を考えている。

マイナンバー制度が抱える危険性について

質問 個人情報情報が流れた場合、その影響は。

部長 なりすましによる預金や名簿の流失などが考えられる。

質問 対策は万全か。

肥前町大浦の棚田



肥前町大浦の棚田

部長 犯罪的攻撃に対しては絶対安全とは言えないが、リスクが増えるとは考えていない。

切木地域の課題について

質問 旧切木中学校の跡地活用検討委員会から、昨年2月に陳情書が出ているが地元で返答がない。

部長 重く受けとめ慎重に検討してきた。早急に説明に出かけたい。

質問 歩道改修について。

部長 路側帯のない危険な場所と承知している。県に対し要望したい。

質問 大浦の「棚田展望台」建設について。

肥前市民センター長 9月までには完成させ、10月の「全国棚田サミット」には間に合せたい。



白水 敬一
(公明党)

生活困窮者への支援充実について

質問 生活困窮者の定義と現状は。

部長 経済的に困窮して最低限度の生活を維持できない者で年収200万円以下で1万7000人が対象となる。

質問 4月に開設した生活自立支援センター状況と対策は。

部長 4名の相談員を配置21件の相談あり、相談者に寄り添ったサポートや訪問支援を実施。太陽光発電等の問題と対策について

質問 太陽光発電の現状と買い取り価格は。

部長 家庭用が1KW35円、3.563件45万KW。事業用が1KW27円。494件3万KW。

質問 相知町押川に60haの大規模なメガソーラーの計画の把握と公害等の対策は。

部長 概要は承知していない。林地開発申請で地元の見解を聞きながら安

全等の対策を業者に求めていきたい。学校教育の問題と対策について

質問 全国学力テストの結果は。

教育長 小学校は県平均より2〜4P低く中学校は3〜11P低く昨年より少し差が縮まった。

質問 いじめの現状対策。

教育長 3月にいじめ防止基本方針を策定。本年度いじめ問題対策指導員を配置。7月に対策委員会を開催する。

質問 児童・生徒のネット依存の現状と対策。

教育長 携帯とスマートフォン所有は増加している。使用を小学校は午後8時まで中学校は10時までと制限している。ネットパトロールは小学校4校中学校5校で実施今後強化していきたい。

質問 学力向上に欠かせないのは子どもたちの競争心がある程度必要となってくるが、その考えは。

部長 小規模校の生徒数が少ない学級は、競争するたくましが欠けると考える。クラス替えができないのもその要因ではないか。

質問 計画の中でタブレット型へ移行とあるが、そのスケジュールは。

部長 中学校を先行し、

平成28年度で完了。小学校は平成32年度で完了となる。

唐津子ども・子育て支援について

質問 唐津市の子ども・子育て支援の課題をどのように捉えているのか。

部長 一つ目に祖父母等の親族の支援の大きさと高齢化及び核家族化の進行がある。二つ目に女性が活躍できる社会への対応をいかに図るか。三つ目に幼児期教育のニーズが高いことが挙げられる。

質問 家庭での支援の重要性は言うまでもない。核家族化が子育て支援に影響している現状で行政側に何らかの支援が求められていると考えるが、どのような施策が求められているのか。

部長 放課後児童クラブ等の拡充が求められる。



井本 敏男
(志政会)

第2次唐津市総合計画について

質問 総合計画の中で「地域の将来を担う人材育成」は重要な施策と考

える。人材育成は学力と心の教育を並行して実施するべきだ。最近市内の子どもたちの学力低下が気になるところだが、県平均に届かない要因は。

部長 その要因はテレビやゲームの時間が長いのが特徴といえる。併せて土日の家庭学習時間が県より短いのも要因ではないか。

質問 学力向上に欠かせないのは子どもたちの競争心がある程度必要となってくるが、その考えは。

部長 小規模校の生徒数が少ない学級は、競争するたくましが欠けると考える。クラス替えができないのもその要因ではないか。

質問 計画の中でタブレット型へ移行とあるが、そのスケジュールは。

部長 中学校を先行し、

平成28年度で完了。小学校は平成32年度で完了となる。

唐津子ども・子育て支援について

質問 唐津市の子ども・子育て支援の課題をどのように捉えているのか。

部長 一つ目に祖父母等の親族の支援の大きさと高齢化及び核家族化の進行がある。二つ目に女性が活躍できる社会への対応をいかに図るか。三つ目に幼児期教育のニーズが高いことが挙げられる。

質問 家庭での支援の重要性は言うまでもない。核家族化が子育て支援に影響している現状で行政側に何らかの支援が求められていると考えるが、どのような施策が求められているのか。

部長 放課後児童クラブ等の拡充が求められる。

唐津市議会だより 平成27年8月1日 (10)





山下正雄
(志政会)

産業振興について

【質問】コスメリック構

想はいつまでに、どんな成果を目指すのか。

【局長】3年を目安に企業

の進出立地、唐津經由の輸出入、地産原料化で具

体的な実績を出す。

【質問】新エネルギー産業

で地元企業育成の成果は。

【部長】まだこれから。

【質問】グアム島との経済

交流は。

【局長】グアム政府の法案

が成立すれば順調に進む。

【質問】唐津産品の輸出入

の相談窓口や指導期間は

あるのか。

【部長】市独自にはない。

【質問】企業誘致の敗因と

今後の方向は。

【部長】企業ニーズに応え

られなかった。議会の理解を得、より良い条件や

職員を配置した。唐津市経済の短観を発表し、施策立案に役立てていく。

【質問】大型小売店の進出

状況と影響や対策は。

【部長】1000㎡以上の

小売店舗が34店舗あり、

地域の小売店舗の減少を危惧している。地域の小売店の取組みを支援して

いく。施策集を作成し支援制度の周知を図る。

【質問】観光産業の市政で

の位置づけは。

【部長】裾野が広く経済波

及効果が高い。産業創造

の大変重要な施策だ。

【質問】中心市街地観光の

核である旧唐津銀行にもつ

と力を入れるべき。

【部長】方策を考える。

【質問】上場地区の産業イ

ンフラが弱い。

【部長】調査し検討する。

【質問】産業創造は難しい。

【部長】民力を全支援する。



新産業集積エリア唐津(厳木町)



中川幸次
(公明党)

空き家対策について

【質問】これまでの対策と

効果は。

【部長】条例を施行し、空

き家等の適正管理に関する対策を行ってきた。こ

れまで情報提供があつた約200件の空き家の内

所有者などのご理解とこ

協力により解体された空き家があるほか、空き地

なども適正管理を行つて

いただき、半数以上につ

いては解決できた。

【質問】国の特別措置法に

よる効果と取り組みは。

【部長】これまで所有者な

どが特定できなかった物

件についても、固定資産

税の納税者情報が活用で

きることで、条例に基づく

助言・指導に取組む。

【質問】空き家の活用につ

いて、所有者と連携しな

がら、「空き家バンク」

制度を設け、唐津市への定住・移住につながる事業を展開してはどうか。

する。高齢者安心サポート事業について

【質問】救急医療情報キッ

トの利用状況と対象者の

拡充は。

【部長】現在、約7千5百

世帯に整備し、約2年半で66件の活用。配布対象

は、平成25年度より民生児童委員を介して希望される方へ配布している。

【質問】外出時の対応につ

いての検討は。

【部長】必ず身につけるこ

とが必要であり、先進地

を調査・研究する。

【質問】森林資源の有効活用につ

いて

【質問】唐津市の53%を占

める森林を活用するため、

CLTの普及や木材バイ

オマスの利用を。

【部長】CLTは建築物の

設計基準の制定等が必要

なため、地元産材の活用を考える。



救急医療情報キット



大西康之
(志政会)

屋外広告物について

【質問】佐賀県屋外広告物

条例の内容と現状は。

【部長】禁止区域と許可区

域があり、重要交差点は禁止区域とし追加。市内

では、許可済みが520件、基準不適合が102

9件。不適合広告は、平成31年度までに、対応

する必要有。

【質問】観光地としての屋

外広告物の考え方は。

【部長】観光地として、訪

れる人達への印象や、誘

導手段として重要な要素

【質問】景観として屋外広

告物をどの様に捉えるか。

【部長】街並み保全も含め、

地域特性に応じた広告物

の適正な規制誘導は重要

【質問】地域特性を生かした

景観テーマを決め、そ

の中で屋外広告物の協議

を行い、市全体の景観と

屋外広告物を規制していくべきでは。それが、条例の「広告物特例地区の設定」につながるのでは。

商工団体等と協議し、県と折衝する。空き家の有効活用について

【質問】行政が介入する事

によるメリットは。

【部長】所有者、入居者に

とって、安心感が生まれ、

利活用が促進される。行政にとって、空き家は地域資源と捉えている。

【質問】空き家バンク制度

について市の考えは。

【部長】空き家バンクの設

置に向け、早急に取り組

む。改修費用の助成制度

も、合わせて検討する。

【質問】空き家と空き店舗

一体的に進めるべきでは。

【部長】空き店舗も網羅した

バンク制度を制定する。

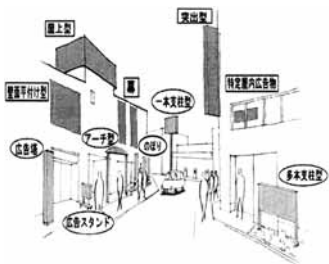
【質問】バンクの成功の為

には、地元及び民間業者

の協力が必要と考えるが、

【部長】民間のノウハウを

活用出来る制度としたい。



屋外広告物とは



伊藤 泰彦 (清風会)

スポーツツーリズムについて

質問 スポーツを活用した観光まちづくりについて、どのように考えているのか。

部長 観光団体とスポーツ団体の連携を強化し、観光客の集客増を目指していきたい。

質問 各種スポーツ大会を支えるスポーツボランティアの育成をどのようにするのか。

部長 市内のボランティアガイドのノウハウを他のスポーツ大会や観光面にも活用し、人材育成に努めていきたい。

質問 今後スポーツツーリズムを推進する上での方向性をどのように考えているのか。

部長 観光団体と情報を共有し、そのニーズとスポーツの融合を図り、スポーツツーリズムの推進を図っていく。

質問 平成27年度の唐津幼稚園と厳木幼稚園の定

員数と入園者数は。**教育長** 唐津幼稚園の定員数は、150名で入園者数は47名。厳木幼稚園の定員数は、80名で入園者数23名。

質問 唐津幼稚園と厳木幼稚園の収支状況は。

教育長 平成25年度の唐津幼稚園の収入は、約552万円で支出が約4,892万円。厳木幼稚園の収入は、約224万円。支出が約2,208万円である。

質問 両園とも極端な定員割れであり、多額の一般財源で運営を行っている状況だが、庁内での協議状況は。

教育長 継続・民営化・廃止の方向性について他市の事例を参考にしながら今後検討を進めて行く。



ヨット世界選手権



志佐 治徳 (日本共産党 唐津市議員)

法令順守について

質問 今回の不正入札汚職事件の検証結果の公表日程を明らかにされたい。

部長 前回の汚職事件では3名の有識者に入ってもらった。できるだけ早い時期に作成したい。

質問 前回は元部長逮捕の翌日に「再発防止調査委員会」を発足させ、その「報告書」で、再発防止のために、研修の徹底を約束しているが、今回の事件後「公益通報制度」を知らなかった職員が7割いた。研修のあり方に問題があるのでは。

市長 通報制度を機能させ、事件の根絶を図る。

質問 「報告書」では、再発防止の仕組みを早期に定着させるために「検証委員会」を立ち上げると宣言しているが、設けなかった理由は何か。

部長 真摯に反省している。

質問 「報告書」では「職員が一丸となって、二度と不祥事を起こさな

いことが職員としての責務」とある。その「報告書」を棚上げにしたことをどう考えているか。

市長 心からお詫びした。

質問 7年前方針ができたのに、何故再発したのかハッキリしないと市民は納得しない。

部長 職責を全うできず、お詫びしたい。その反省を元に、様々な改革を図っていく。

質問 市長の体質が甘かった。市長がいけない方が事件の究明はできる。

市長 前回の「報告書」以上の厳しい文言を入れなくてはならない。

その他の質問
◎「戦争法案」について
◎市営住宅使用料について



再発防止に係る調査報告書



榑崎三千夫 (清風会)

定住促進対策について

質問 第2次総合計画が発表され、人口減少は大きな問題である。市のホームページでU・J・ターンをPRしてあるが非常に解りづらい。島根県のホームページは解り易くアクセス数も多いと聞く。改善の余地があるのでは。

部長 見させてもらったが、解り易く参考になる。市のホームページも工夫して改善したい。

質問 島根県の海士町等各自自治体も、いろんな取組をして移住者を募っている。唐津には自然・歴史・文化・食べ物等他市より魅力が多くある。宣伝はもとより独特の取組をして移住者を募り、定住者増加を目指すべきではないか。

部長 人口減少はこの自治体にとっても大きな問題であり、市も重要課題と捉えている。他自治体の先進事例を参考にしながら、いろいろな対策を考えたい。

質問 農業政策も人口増と市の活性化につながると思う。農業法人も一つの施策であると思うが市の現状は。

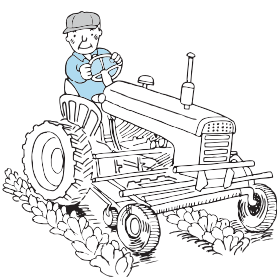
部長 農業法人は市で45法人ある。新規就農者の受け皿として重要な役割を担っている。

質問 他の自治体では、近年農業情勢への活性化対策として企業参入が多いと聞く。佐賀県、唐津市は非常に少ないが。

部長 貸せばもの言えなくなる。地域のまとまりがなくなる。貸してしまつて戻ってこない等、土地を貸す事への抵抗感があると考えられる。

質問 耕作放棄地等は企業の手伝いを受け、問題解決を図るべきと思うが。

部長 県やJA等関係機関と連携し活用促進を図りたい。



公共施設・交通対策に係る特別委員会 開催（平成27年6月19日）

次の事項を協議しました。

○公共施設のあり方についての課題・方向性について

・公共施設のあり方についての検証

各地域が抱える公共施設について、今後、継続して維持管理していく上で、財政を圧迫していくような類似の施設、利用頻度の少ない耐用年数を過ぎた施設などを整理、統合していく必要があるが、そのような公共施設の機能集約及び新設を含めた公共施設あり方について、検証を行っていく。

・複合型（多機能型）市民センターのあり方についての検証

公共施設のあり方と重なる部分があるが、市民センターについては、現在のところ市役所と同等の機能を有する総合支所として、存続していく方針となっている。今後、老朽化や耐震上の問題などから、浜玉や相知市民センターを初めとして建て替えの必要がでてくるが、現在の市役所窓口機能だけを持つ市民センターとするのではなく、公共施設の統合も視野に、公的機関や民間の機能を併せ持つ、地域ごとに求められる、複合型市民センターの検証を行っていく。

○公共交通ネットワークについての課題・方向性について

・地域公共交通のあり方についての検証

高齢者を初めとする交通弱者の様態などは、各地域により様々な事情があるため、まずは地域別に課題を洗い出し、執行部が策定を進めている唐津地域公共交通網形成計画等も勘案しながら、住民の移動手段確保と地域活性化へつながるような地域公共交通体系の見直しや、市全域のバランスのとれた交通ネットワークについて検証を行っていく。

唐津市議会議員政治倫理研修会を開催しました（平成27年5月21日）

市議会では、公共工事をめぐる不正入札事件に係る特別委員会の、再発防止策についての提言を受け、議会運営委員会主催で第1回研修会を開催いたしました。講師に、廣瀬和彦氏（全国市議会議長会調査広報部参事）をお迎えし、「議員の政治倫理について」講演を頂きました。

市議会議員全員を始め、市の幹部職員が出席し、約2時間の講演でありました。その内容は、政治倫理の意義と必要性から始まり、政治倫理条例とは、議員の関連企業の請負契約辞退規定、政治倫理審査会さらには、議員の兼業禁止にまで及ぶ幅広い内容の講演でした。講演の中では、他市の事例紹介などもあり、大変参考になりました。

市議会では、議員倫理条例（規程）制定に向け3月に作業部会を立ち上げ、各会派の意見を持ち寄り協議を重ねております。現在まで8回の作業部会が開催されておりますが、法解釈の違い、項目が多岐にわたること、中身の充実を図るため全ての項目について議論を重ねているため、取りまとめには長い時間を要しています。9月定例会に提案できるよう、休会中も作業部会で協議を重ねていき、より良い条例（規程）制定に向け取り組んでまいります。





意見書(要旨)

市議会では、意見書として、権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

農林水産業の輸出促進に向けた施策の拡充を求める意見書

- 1 国や日本貿易振興機構（JETRO）等が一体となって支援し、ブランドの確率や産地間の連携を図るとともに、諸外国の輸入規制情報の提供や関連する相談窓口の設置、諸外国から要求される証明書の国による一元的な発行など、国内輸出事業者への支援策を行うこと。
- 2 輸出先となる国や事業者から求められるHACCP、ハラール、GLOBALG.A.P.等の認証取得を促進するとともに、国際的な取引にも通用する、HACCPをベースとした食品安全管理に関する規格・認証の仕組みや、GAPに関する規格・認証の仕組みの構築を推進すること。

認知症対策への取り組みの充実強化に関する意見書

- 1 認知症の方々の尊厳、意思、プライバシー等が尊重される社会の構築を目指し、学校教育などにより認知症への理解を一層促進するとともに、認知症の予防・治療法確立、ケアやサービスなど認知症に対する総合的な施策について、具体的な計画を策定することを定めた「認知症の人と家族を支えるための基本法（仮称）」を早期に制定すること。
- 2 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の効果を見極めるため、当事者や介護者の視点を入れた点検・評価を適切に行い、その結果を施策に反映させること。

その他の意見書

- ・ 義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- ・ 地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。

唐津市議会議員の政治倫理に関する条例案について意見を募集します

議会では、条例案の策定作業を進めています。皆様のご意見をお待ちしております。

- **意見を出すことが出来る人**
 - ・ 市内在住の方・市内に勤務、通学する人・市内に事務所、事業所がある団体
- **条例案の公表場所**
 - ・ 議会事務局・各市民センター総務教育課・各出張所（湊、切木、打上）
 - ・ 市立図書館・職員が常駐している公民館・市民交流プラザ・市議会ホームページ
- **意見書の提出時期**
 - 8月21日（金）まで
- **意見書の提出方法**
 - 氏名、住所、電話番号などを記入して窓口に提出してください。
 - 郵送、ファックス、Eメールでも受け付けます。
- **問い合わせ先** 議会事務局 TEL 72-9162

委員会の現地調査

唐津市議会には4つの常任委員会が設置されています。付託された議案等の中から、現地確認が必要な箇所を選定し調査しています。



都市整備委員会

市道滝川桑原杉山線（七山）



総務教育委員会

浜玉中学校（浜玉町）



市民厚生委員会

市民交流プラザ（南城内）



産業経済委員会

横枕地区頭首工（相知町）

議会交際費を公表します

- ・唐津市情報公開条例に基づき、議会交際費の支出状況をお知らせします。
- ・議会交際費とは、市政の円滑な推進を図るため、議会が行う外部との交際に要する経費です。

平成26年度分 議会交際費支出状況

支出種別	件数(件)	金額(円)
弔慰	31	197,000
見舞	0	0
御祝	2	20,000
賛助	6	29,320
接遇	12	101,494
会費	86	407,835
その他	4	104,700
合計	141	860,349

【用語解説】

- 弔慰：市政関係者及びその親族に対する香典、供花などに係る経費
- 見舞：市政関係者の病気、災害などの見舞に係る経費
- 御祝：記念行事、式典、祝賀会などに際しての祝いに係る経費
- 賛助：各種大会、新聞などの特別企画等で公益性のあるものへの賛助
- 接遇：来客、市政関係者との懇談ののり土産、記念品などに係る経費
- 会費：円滑な市政、議会運営に資する会議、会合、研修会への参加に係る経費
- その他：上記の区分に掲げるもの以外に係る経費

問い合わせ 議会事務局（☎72-9162）

編集後記

本号が皆さんの手元に届く頃には、暑い夏になっている事と思います。

夏休み真只中、朝のラジオ体操、昆虫採集、プール、そしてスイカ、いいな～夏休み。

最近では、真黒に日焼けした子供を観る機会が少なくなりました。

昔、2学期の初日に日焼け大会があり、黒く焼けたことを自慢していた時代がなつかしく思われます。

話は変わりますが、議会中継や議会だよりを「見たよ」と声を掛けられると嬉しくなります。

今後も、読者の皆様のご意見を賜りながら、多くの方に読んで頂ける様な紙面作りに励んで参ります。

「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- ・委員長 大西 康之
- ・副委員長 中川 幸次
- ・編集長 富田 幸樹
- ・委員 江里 孝男
- ・委員 吉村慎一郎
- ・委員 伊藤 一之
- ・委員 馬場 幸年
- ・委員 中村 健一
- ・委員 檜崎三千夫
- ・委員 志佐 治徳
- ・委員 水上 勝義